

共和薬品工業株式会社 溶出挙動の類似性及び溶出試験に関する資料

セレコキシブ錠 200mg 「アメル」

1. 溶出挙動の類似性

通知等	「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について（平成24年2月29日 薬食審査発 0229 第10号）」
試験製剤	セレコキシブ錠 200mg 「アメル」 LOT No. CEL2003 (ダイト(株)製造)
標準製剤	セレコックス錠 200mg LOT No. S002F01 (アステラス製薬(株)製造)
試験方法	日本薬局方 一般試験法溶出試験法パドル法
試験条件	試験液量：900 mL、温度：37±0.5℃

<判定基準>

回転数	試験液	判定
50	pH1.2	規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が10%に達しないとき、規定された試験時間において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±9%の範囲にある。
	pH4.0	
	pH6.8	
	水	
100	pH1.2(0.5%)※	規定された試験時間において標準製剤の平均溶出率が85%以上となるとき、標準製剤の平均溶出率が40%及び85%付近の適当な2時点において、試験製剤の平均溶出率が標準製剤の平均溶出率±15%の範囲にある。
	pH4.0(0.5%) ※	
	pH6.8(0.5%) ※	
100	pH1.2(0.5%)※	

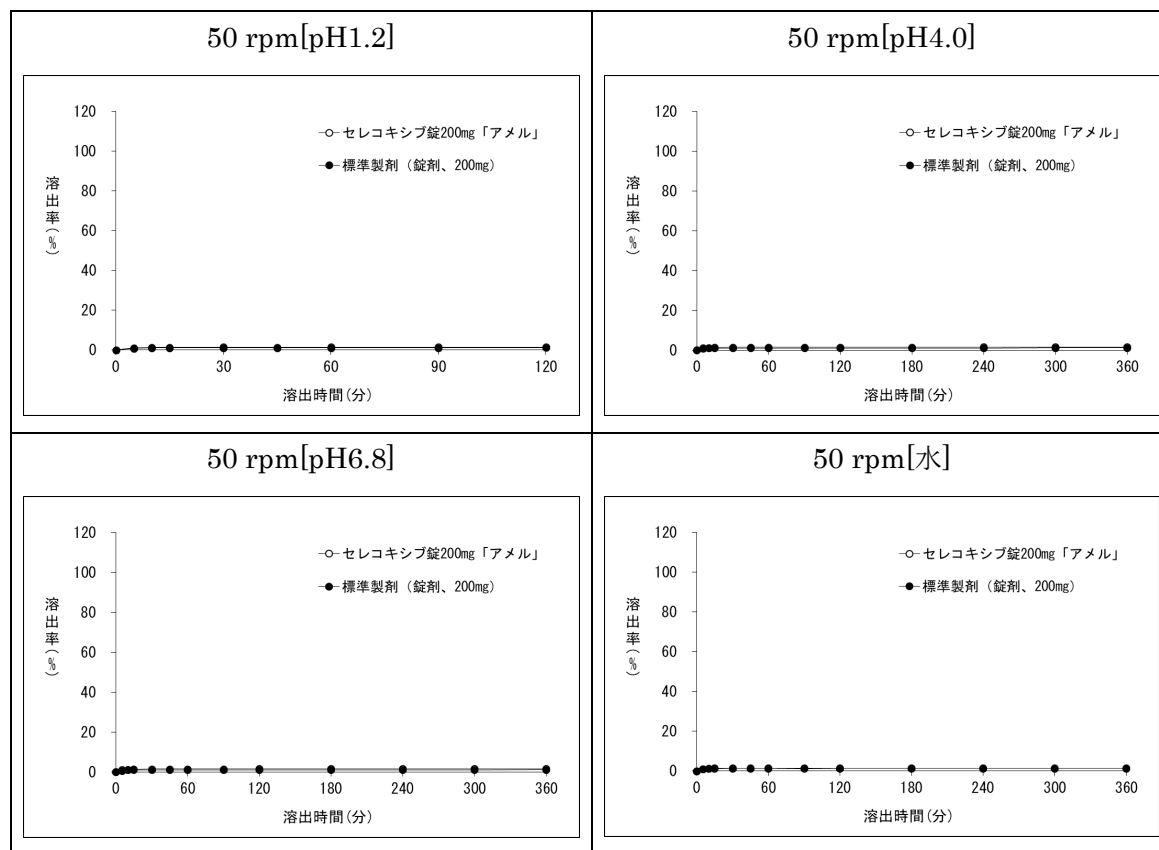
※ポリソルベート80 濃度0.5%

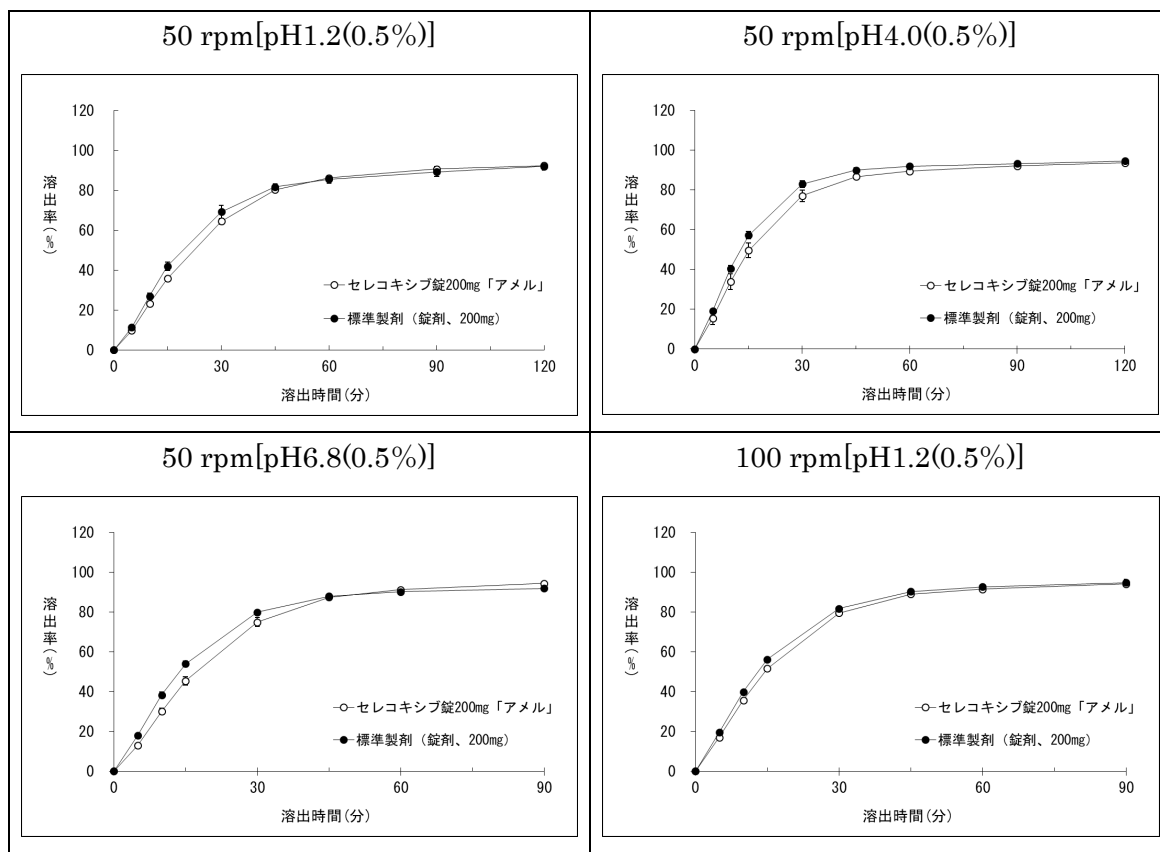
<試験結果>

下記の通り、両剤の溶出挙動は類似していると判定された。

表. 溶出挙動の類似性 判定結果

試験条件		判定基準		平均溶出率 (%)			判定結果	
試験方法	回転数	試験液	溶出率	判定時間	標準製剤	試験製剤		差
パドル法	50 rpm	pH1.2	±9%以内	120分	1.2	1.5	0.3	適合
		pH4.0	±9%以内	360分	1.2	1.5	0.3	適合
		pH6.8	±9%以内	360分	1.2	1.5	0.3	適合
		水	±9%以内	360分	1.3	1.5	0.2	適合
		pH1.2 (0.5%)	40%付近	15分	42.0	35.8	-6.2	適合
			85%付近	60分	85.5	86.2	0.7	
		pH4.0 (0.5%)	40%付近	10分	40.5	33.9	-6.6	適合
			85%付近	30分	83.0	77.1	-5.9	
	pH6.8 (0.5%)	40%付近	10分	38.3	30.0	-8.3	適合	
		85%付近	45分	87.9	87.3	-0.6		
	100 rpm	pH1.2 (0.5%)	40%付近	10分	39.9	35.6	-4.3	適合
			85%付近	30分	81.7	79.4	-2.3	





(Mean ± S.D., n=12)

図. 溶出曲線

2. 溶出試験

日本薬局方一般試験法溶出試験法パドル法に基づき試験を実施し、以下の溶出規格に適合していることが確認されている。

表示量	回転数	試験液	規定時間	溶出率
200 mg	50 rpm	日本薬局方溶出試験第1液 ポリソルベート 80 濃度 0.5%	60 分	80%以上